

## 朝礼（6月12日） 校長講話

先ほど、テニス部の子たちの表彰を行いました。テニスといえば、先週、4大会のひとつ「全仏オープン」が行われていて、テレビなどで見た人もいるのではないかと思います。その全仏オープンは赤土のコートで行われます。他の大会は芝のコートなどですが、ボールの弾み方などが違うので得意な人とそうでない人というようです。今日はそんな、得意・不得意ということで話をしようと思います。

今日、新聞がお休みだったのを知っていますか？皆さんの家では、朝、新聞をだれがポストから取ってくるのかな。皆さんかもしれないし、家族の誰かかもしれないませんが、今日はその新聞の休刊日です。そんな新聞にはたくさんのニュースが載っていますが、皆さんはニュースをどこで知りますか。ちょっと手を挙げてもらいましょうか。新聞を読むっていう人？（少数）、テレビからという人？（多数）、インターネットからという人は？（ぱらぱらと）もっとインターネットからニュースを読む人が多いのかと思っていましたが、意外にテレビが多く、ちょっとほっとしました。

というのは、テレビはあらゆるジャンルのニュースを流してくれるからです。皆さんが興味のあるニュースが流れれば、「なにになに」と食い入るように観るでしょうし、たとえ興味がないニュースでも頭の隅を少し通っていくから、もしかしたら記憶には残るかもしれません。これがインターネットだとそうはいかないのです。知っている人もいるかもしれませんが、インターネットのニュースというのは、その人の興味のあるものを優先的に表示するようになっているのです。サッカーが好きな子が、よくサッカーの記事を読んでいると、ニュースもサッカーに関連するものが上位に表示され、そうでないものは下の方になってしまうんです。もちろんこれはとても便利な機能なのですが、一方で、あまり興味がないものに関して、ますます知らないで過ぎてしまうということが起きてしまいます。例えば、先週末には、天皇が活着しているうちにその立場を退き、皇太子様に譲られるということができるといふきまりが改正されました。また、土曜日には愛知県の東名高速道路で、反対側車線を走っていた車がガードレールにぶつかったはずみで、反対側を走っていたバスの方に飛び込んでくるという事故がありました。バスに取り付けてあるドライブレコーダーの映像もニュースで流れましたが、衝撃的な映像でしたね。テレビや新聞などではこういうニュースも紹介されますが、さっき言ったように、インターネットでは下の方でしか出てこないかもしれません。

これを学校や学級に置き換えるとどうでしょう。自分と同じ考えの人、相性の合う人と一緒にいるのは確かに楽しいものです。しかし、だからといって自分が興味のない人、あんまり好きでない人との関わりをなくしてしまったらどうなるのでしょうか。自分とは違う視点を与えてくれたり、刺激を与えてくれたりするのがそんな人たちだと思います。世の中は、常にさまざまなことが起きています。それが社会です。クラスや学年も、さまざまな人たちがいて成り立っています。好き・嫌い、得意・不得意はあってもかまいません。しかし、自分の興味のないものにまったく触れないで過ごすのではなく、そんな人たちともうまくかかわり合いながら学級や学校をつくってほしいと思います。